

令和6年度第3回 大学等の質保証人材育成セミナー  
「いまさら聞けない DEI——高等教育の現場から」

大学改革支援・学位授与機構

## 1. はじめに

2023（令和5）年6月にLGBT理解増進法が国会で成立し話題となったことをはじめとして、性的マイノリティの人権に関する社会や法的な取り扱いのアップデートが進められつつあります。これに先立ち文部科学省では、2010（平成22）年より複数回にわたり、主に「性同一性障害」の児童生徒に対するきめ細やかな対応を求める通知を初中等教育関連組織に対して発出してきました。これらの教育機関が、子どもの発達に伴うメンタルヘルスに重大な影響を与える場であることを反映した働きかけです。しかしながら、性的マイノリティ等の包摂に対する取り組みは、高等教育への進学を境に分断してよいものではありません。

高等教育機関は、多様な学生および教職員が安心して学業や研究、職務に専念できる環境を整える責務を負っています。そのみならず、医療者や教育者をはじめとして、さまざまな分野で次世代を育成する役割を担う専門家を養成するという役割を持ちます。しかしながら、知識や経験が担当者に共有されず、問題が起こった際に適切なサポート体制が取られないまま、組織の信頼性を損なうという事態も生じています。

対応の必要性を認識してはいても、性的マイノリティにまつわる概念や知識が頻繁にアップデートされること、同じ属性に分類される人たちの中でもニーズや価値観が一樣ではないことにより、対応に困難さを感じられることも多いでしょう。今回のセミナーでは、公的機関であり、かつ国際的な人権尊重の理念を順守すべき事業主体として、高等教育機関の運営者が知っておくべき DEI（多様性（Diversity）、公平性（Equity）、包摂性（Inclusion））の基礎知識を実践に即して提供いたします。さまざまな知識レベルの方を歓迎いたします。学生対応や組織運営で疑問に感じられる点について、相談にお答えしていきます。ぜひ奮ってご参加ください。

## 2. 今回のセミナーの達成目標

- ・ 性的マイノリティ（LGBTs）および、性分化の多様性（インターセクシュアリティ）に関する基礎知識を持ち、他者に説明できる。性的マイノリティの人権保護に関して、国内外での法制度の現状と議論の流れを知る（講義編）。
- ・ 学生や教職員、外部のステークホルダーの具体的なニーズにどのように対応すべきか、ケースバイケースで判断できる（演習編）。

## 3. 期日・会場

令和7年2月21日（金）13：00－16：50

大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス 1112 会議室

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 11 階

東京メトロ半蔵門線 / 都営三田線・新宿線神保町駅 出口 A8、A9 徒歩 6 分

東京メトロ東西線竹橋駅 出口 1b 徒歩 5 分

#### 4. 対象と募集人数

高等教育機関等における教職員を対象とします。当該トピックに関する研究を行っている、大学院生や研究生もご参加いただけます。

- ・ 第 1 部（講義編）につきましては、オンラインでの受講となりますので、特段、募集人数の上限は定めておりません。
- ・ 第 2 部（演習編）は、対面形式となり、20 名を上限とします。申し込み開始から 1 週間は、1 大学から 1 名の申し込みとさせていただきます。また、第 2 部参加者の方のみ当機構・竹橋オフィスで第 1 部を受講いただきます。
- ・ 不規則発言や、講師の安全をおびやかす言動があると判断した場合は、ご退場いただくことがございます。
- ・ オンライン参加、対面参加問わず参加費は無料となります。

#### 5. プログラム

12:45 開場予定

13:00-13:05 開会挨拶（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部長 戸田山 和久）

##### <第 1 部（講義編：オンライン配信あり）>

13:05-13:25 「性的マイノリティおよび、性分化の多様性の成因論の変遷と社会的インパクト」

坂口 菊恵（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

性的マイノリティや、性分化に関する多様性はなぜ生じるのでしょうか。その成因論は、包摂にまつわる社会的な言説の変遷とどのような関係にあるのでしょうか。行動生物学の観点から解説します。

13:25-14:05 「性的マイノリティに対してインクルーシブな高等教育機関への転換—まずここからはじめてみよう—」

河野 禎之（筑波大学人間系 助教, ヒューマンエンパワーメント推進局業務推進マネージャー）

筑波大学では平成 29 年 3 月に、国内の大学としてははじめて、大学公式の LGBTQ+ に関する基本理念及び対応ガイドラインを策定し、FD/SD に積極的に取り組んできました。こうした動きをけん引してこられ、学術上、および実践上の知見が豊富な河野先生にご登壇いただき、高等教育機関で DEI 施策を進める上で最低限おさえておきたい基礎的知見と、ノウハウをご共有いただきます。

\* 性的マイノリティに関する施策（文部科学省：現代的・社会的課題）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/jinken/sankosiryo/1415166\\_00004.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinken/sankosiryo/1415166_00004.htm)

\*LGBTQ+の健康レポート：誰にとっても心地よい医療を実装するために、日高庸晴著、医学書院

<https://amzn.asia/d/eKre2xn>

\*LGBTQ+に関する基本理念及び対応ガイドライン（筑波大学 ジェンダー支援チーム）

<https://diversity.tsukuba.ac.jp/lgbtq/guideline>

14：05－14：20 「多様な構成員と価値観を包摂する高等教育機関に向けた気づき」

土井 裕人（筑波大学人文社会系 助教）

土井先生は筑波大学「LGBTQ+に関する基本理念及び対応ガイドライン」策定の際に、特にトランスジェンダーに関する項目の検討において貴重な知見を提供しました。近年社会的議論が激しく、当事者間でもニーズや価値観が異なることが多いトランスジェンダーへのサポートに関して、どういった点をおさえておくべきか伺います。

14：25－14：40 **質疑応答**（質問記入タイム 14：20－14：25）

- ・ 質疑応答につきましては、参加申し込み時のフォームへの入力をお願い申し上げます。セミナー当日は、現地参加の方も含めオンラインで入力いただくツールを利用します。
- ・ 質問内容は画面上で共有し読み上げます。セミナーは後日一般公開するために録画しております。個人名等が入らないようご注意ください。
- ・ 質問が多かった場合には、内容によって適宜集約の上、対応させていただきます。
- ・ 最大延長 14：50 となります。

<第2部（演習編：対面のみ）>

4人程度ずつの班を指定し、グループワークを行います。

講師陣が班に参加し、ファシリテーションを行います。

14：50－15：25 **演習1**

「事例をもとに、組織的対応を考える（個人ワーク→ グループ共有、答え合わせ）」

- ・ 事例を題材に、NGな対応からベストな対応まで、どのような選択肢と結果が想定されるか検討していただきます。
- ・ ご自身の所属機関において同様な事例が生じた場合に、実行可能な対応戦略をイメージしていただきます。

15：25－16：10 **演習2前編**

「業務の中で直面した、DEI対応に関する困りごとや疑問」（個人ワーク+グループワーク）

- ・ 最初に10分程度、ワークシートで「学内でのDEI推進の課題」を整理していただきます。
- ・ その後、グループ内で課題の共有と解決策に関する相互助言を行ってまいります。

16：15－16：45 **演習2後編**：全体共有+講師陣からのコメント

- ・ 班ごとのグループワークで見えてきた課題について全体共有しつつ、講師陣から学術的または実践的なコメントをさせていただきます。

16:45-16:50 アンケート記入タイム

- ・ アンケート（オンライン）へのご記入をお願いします（完了した方よりお帰りいただけます）。

## 6. 申し込み方法と期間

- ・ 申し込みは、令和7年1月28日（火）13時から開始します。当機構「大学質保証ポータル」の案内ページにお進みください。  
<https://niadqe.jp/event/7091/>
- ・ 対面参加希望の方は、2月14日（金）17時までにお申し込みください。満席になった場合には、その時点で締め切らせていただきます。
- ・ オンラインのみでの参加の方は、2月18日（火）の17時まで受け付けています。質問事項をお持ちの方は、早めのお申し込みをお願いいたします。
- ・ 申し込みをされますと確認メールがお手元に届きますのでご確認ください。

## 7. ご案内

- ・ 資料は、2月19日（水）15時までに電子的に配付します。
- ・ オンライン会議の接続先の URL、（対面参加の方の）当日の入館方法については資料配付の際に合わせてご案内させていただきます。
- ・ 申し込みを行ったのにもかかわらず、これらの日付を過ぎても当機構から連絡がない場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください（念のため、迷惑メールフォルダもご確認ください）。
- ・ 対面参加の方でご欠席になる場合には、班編制の都合もありますので、下記、問い合わせ先までメールでご連絡ください。
- ・ 広報や報告書作成のために会場の写真等を撮影し、当機構「大学質保証ポータル」等で公表させていただきます。人物が一部写り込む場合は個人が特定できないよう留意いたしますが、撮影を望まない方は、申込時にその旨お知らせください。
- ・ 第1部については、記録動画を編集後「大学質保証ポータル」にて公開します。
- ・ 第2部（対面・演習編）では自由な意見交換等を行っていただくため録音、撮影はご遠慮ください（主催者側で記録用に録音等を行う場合はありますが研修事業（成果報告等を含む）以外での利用はいたしません）。
- ・ なお、第2部では、お名前、ご所属、職位のみを掲載した名簿（班分け表）をお配りします。

## 8. 問い合わせ先

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課 企画第2係

E-mail: hyokikaku2@niad.ac.jp